

IR資料

-2020年3月期-

2020年5月11日
ニプロ株式会社



目次

コロナウィルスの事業への影響	2
2019 年度 連結業績	4
為替レート固定した場合の損益比較	5
セグメント別製品群の売上高	6
製品分類表	7
製商品別売上高	8
事業セグメント別 売上高・営業利益	9
セグメント業績	10
地域別売上 売上高・構成比	14
為替感応度	15
販売費及び一般管理費、研究開発費	16
設備投資額・減価償却費	17
主要会社別の設備投資額	18
通期予想	19

コロナウィルスの事業への影響 – ①

製造・購買・物流

インド(ダイアライザ工場)：ロックダウンが継続しており、組立ラインが日勤のみ稼働
通関停止中のため、輸出不可

中国(ダイアライザ工場)：2月に10日間の操業停止、3月から通常稼働

バングラデシュ(血液回路工場)：稼働は日勤のみ。購買・物流は通常通り

国内外医薬品工場：稼働は通常通り。中国から調達の原薬は十分な在庫を確保

上記以外の国内外工場は通常稼働。購買・物流も通常通り

販売

国内医療&医薬品：外来抑制や受診自粛、6月新規上市医薬品の販売延期等

循環器：4月の国内症例数が25%減少、年内に100%回復予想

海外医療：インド工場のダイアライザ輸出不可等

米国で人工心肺、検査キット、マスク等の販売増

政府優遇策

中国：工場における電気料金値引き、社会保険料控除

コロナウィルスの事業への影響－②

臨床試験

臨床試験の実施や承認申請への大きな影響はなし

オンライン診療、オンライン服薬指導(ニプロハートライン)
定期受診が必要な慢性患者様の感染リスクが低減
バイタル情報も感染病棟から離れたナースステーションで確認できるので、
院内感染予防、防護服の削減ができる
感染を疑う患者等への健康医療相談にも利用可能

2020年度業績予想

コロナウィルス感染の収束時期が不明のため、見込んでいない

2019年度 連結業績

(億円)

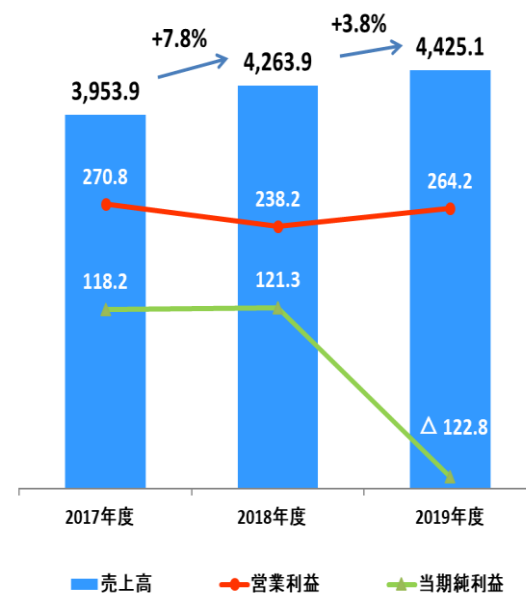
	2018年度	2019年度	増減額	増減率	2020年度 予想
売上高	4,263.9	4,425.1	161.2	3.8%	4,700.0
売上原価	2,957.6	3,083.0	125.4	4.2%	3,265.0
売上総利益	1,306.3 (30.6%)	1,342.1 (30.3%)	35.8	2.7%	1,435.0
販売管理費	1,068.0 (25.0%)	1,077.9 (24.4%)	9.9	0.9%	1,170.0
営業利益	238.2 (5.6%)	264.2 (6.0%)	26.0	10.9%	265.0
経常利益	224.3 (5.3%)	234.1 (5.3%)	9.8	4.4%	245.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	121.3 (2.8%)	△ 122.8 (-)	△ 244.1	-	135.0
IFRSに準拠した場合の 当期純利益(概算額)	156.2	△ 80.3	△ 236.5	-	169.6

※ 売上総利益への影響項目

未実現利益

(前期) △23.8億円

(当期) △13.7億円



- 売上高： 国内外透析関連製品と医薬品受託が牽引し、前年同期比+3.8%の増収
- 営業利益： 医薬関連事業で売上増と経費削減による大幅利益増により、前年同期比+10.9%の増益
- 当期純利益： 新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な株価暴落に伴う有価証券評価損と子会社の業績予測の悪化による固定資産の減損処理により、前年同期比 △244.1億円の減益

為替レートを固定した場合の損益比較

(億円)

	2018年度	2019年度	為替の影響 (※1)	為替影響控除後 2019年度	増減率
売上高	4,263.9	4,425.1	△ 53.0	4,478.1	5.0%
売上原価	2,957.6	3,083.0	△ 17.7	3,100.7	
売上総利益	1,306.3	1,342.1	△ 35.3	1,377.4	5.4%
(%)	30.6%	30.3%		30.8%	0.1%
販管費	1,068.0	1,077.9	△ 12.9	1,090.8	
営業利益	238.2	264.2	△ 22.4	286.6	20.3%
(%)	5.6%	6.0%		6.4%	0.8%
営業外収益	53.7	51.2		51.2	
営業外費用	67.6	81.2	18.7	62.5	
経常利益	224.3	234.1	△ 41.1	275.2	22.7%
特別利益	21.4	47.9		47.9	
特別損失	33.4	383.6		383.6	
税引前利益	212.3	△ 101.5	△ 41.1	△ 60.4	△ 128.5%
法人税等	93.5	14.3	△ 12.6	26.9	
非支配株主に 帰属する純利益	△ 2.6	6.8		6.8	
当期利益	121.3	△ 122.8	△ 28.5	△ 94.3	△ 177.7%

期中平均レート	2018年度	2019年度
1 USD	110.36	109.24
1 EUR	130.01	122.15
1 中国元	16.64	15.82

期末レート	2019年 3月末	2020年 3月末
1 USD	110.99	108.83
1 EUR	124.56	119.55
1 中国元	16.47	15.31

(※1) 昨年レートとの差額で外貨取引合計を円換算

セグメント別製品群の売上高

(億円)

セグメント 製品	医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマッケー ジング事業	その他 事業	合計	対前年増加額 (増減率)
医療機器	2,450.9	0.0	28.7 (※3)	0.0	2,479.6	116.6 (4.9%)
医薬品	897.7 (※1)	703.5 (※2)	0.0	0.0	1,601.3	29.6 (1.9%)
ファーマッケー ジング	0.2	0.0	331.8	0.0	332.1	6.4 (2.0%)
その他	8.7	0.0	1.5	1.7	11.9	8.5
合計	3,357.6	703.5	362.1	1.7	4,425.1	161.2 (3.8%)
対前年増加額 (増減率)	84.1 (2.6%)	68.7 (10.8%)	6.9 (1.9%)	1.4	161.2 (3.8%)	

(※1) 自社ブランドGE

(※2) 受託製造

(※3) 注射針類、輸液関連製品、検査製品

製品分類表

医療機器区分	
ダイアライザ	ダイアライザ（人工腎臓透析器）、HDFフィルター
透析機器	透析システム、メンテナンス、透析機器部品
その他透析関連製品	血液回路、AVFニードル（翼付留置針） 他
注射針類/輸液関連製品	PSVニードル(翼付留置針)、輸液セット、セーフレットキャス・IVカメラ 他
バスキュラー関連製品	循環器治療用カテーテルセット、血栓吸引カテーテル 他
検査製品	ネオチューブ、真空採血管 他
糖尿病関連製品	インスリン針、血糖測定器(海外向け)、ランセット
SD関連製品	補助人工心臓、人工肺
その他	医療器械、血液関連製品、培養商品、手袋 他
医薬品区分	
経口剤	経口剤
輸液・注射剤	シリンジキット、バイアル製剤、PLW、粉末透析剤、透析液 他
外用剤・貼付剤	外用剤・貼付剤
その他・体外診断薬 等	診断薬、医薬品、血糖測定器 他
ファーマパッケージング区分	
生地管関連	医薬用生地管、非医療用生地管、硝子原料
アンプル硝子	アンプル（シングルチップ、ダブルチップ）
バイアル硝子	バイアル（ブローバック、スクリュウ、滅菌済等）
シリンジ硝子	シリンジ（ルアーロック、ルアースリップ、滅菌済等）
ゴム栓・栓体類	ゴム栓、栓体、栓・キャップ類
プラスチック容器	プラスチック品
魔法瓶	魔法瓶用硝子
その他	硝子容器その他、特殊硝子容器、カートリッジ硝子・その他など

製商品別売上高

(億円)

事業分類		全社				海外				日本			
		2018年度	2019年度	増減額	増減率	2018年度	2019年度	増減額	増減率	2018年度	2019年度	増減額	増減率
[医療機器]	ダイアライザ	651.7	721.7	69.9	10.7%	453.1	510.9	57.7	12.8%	198.6	210.8	12.1	6.1%
	透析機器	195.9	199.3	3.3	1.7%	110.2	107.3	△ 2.9	△2.6%	85.6	91.9	6.3	7.4%
	その他透析関連製品	265.3	287.7	22.3	8.4%	199.8	216.7	16.8	8.5%	65.5	71.0	5.5	8.4%
	透析関連製品計	1,113.1	1,208.8	95.7	8.6%	763.2	835.0	71.7	9.4%	349.8	373.8	24.0	6.9%
	注射針類/輸液関連製品	485.5	501.7	16.2	3.4%	255.0	260.8	5.7	2.3%	230.4	240.9	10.5	4.6%
	バスキュラー関連製品	260.9	273.5	12.5	4.8%	40.2	42.7	2.4	6.0%	220.6	230.7	10.1	4.6%
	検査製品	97.1	100.1	3.0	3.2%	66.9	69.6	2.7	4.2%	30.1	30.4	0.2	0.9%
	糖尿病関連製品	116.1	94.7	△ 21.3	△18.4%	94.4	75.9	△ 18.4	△19.6%	21.6	18.8	△ 2.8	△13.2%
	SD関連製品	38.8	34.3	△ 4.5	△11.7%	10.2	9.4	△ 0.7	△7.4%	28.6	24.8	△ 3.7	△13.2%
	その他	251.2	263.6	12.3	4.9%	99.8	103.3	3.5	3.5%	151.4	160.3	8.8	5.9%
部 門 計		2,363.0	2,477.1	114.1	4.8%	1,330.0	1,397.0	67.0	5.0%	1,032.9	1,080.1	47.1	4.6%
[医薬品]	経口剤	668.2	724.8	56.6	8.5%	26.9	34.9	8.0	29.8%	641.2	689.8	48.6	7.6%
	輸液・注射剤	631.9	653.6	21.7	3.4%	44.2	48.5	4.2	9.7%	587.6	605.1	17.5	3.0%
	外用剤・貼付剤	91.8	102.0	10.2	11.2%	0.1	0.4	0.3	253.6%	91.6	101.6	9.9	10.9%
	その他・体外診断薬 等	179.8	120.7	△ 59.0	△32.9%	3.6	3.3	△ 0.2	△6.7%	176.2	117.4	△ 58.8	△33.4%
	部 門 計	1,571.7	1,601.3	29.5	1.9%	74.9	87.2	12.3	16.5%	1,496.8	1,514.0	17.2	1.1%
[ファーマ パッケージング]	生地管関連	86.9	96.3	9.3	10.8%	64.3	73.9	9.5	14.9%	22.6	22.4	△ 0.2	△1.1%
	アンプル硝子	41.8	37.7	△ 4.0	△9.8%	41.7	37.6	△ 4.0	△9.8%	0.1	0.1	0.0	△11.1%
	バイアル硝子	111.9	103.0	△ 8.9	△8.0%	96.4	89.0	△ 7.4	△7.7%	15.4	13.9	△ 1.5	△9.8%
	シリンジ硝子	31.1	38.3	7.2	23.3%	31.0	38.1	7.1	23.1%	0.0	0.1	0.0	76.2%
	ゴム栓・栓体類	13.5	15.9	2.3	17.2%	1.9	3.6	1.6	83.5%	11.6	12.3	0.6	6.0%
	プラスチック容器	18.1	19.1	1.0	5.8%	1.0	1.4	0.4	45.1%	17.1	17.7	0.5	3.5%
	魔法瓶	6.5	6.1	△ 0.3	△5.8%	0.0	0.0	0.0	-	6.5	6.1	△ 0.3	△5.8%
	その他	15.5	15.3	△ 0.1	△1.1%	11.4	11.6	0.1	1.3%	4.0	3.7	△ 0.3	△8.0%
部 門 計	325.7	332.1	6.3	2.0%	247.9	255.4	7.5	3.0%	77.8	76.6	△ 1.1	△1.4%	
[再生医療]	再生医療等製品	0.0	2.4	2.4	-	0.0	0.0	0.0	-	0.0	2.4	2.4	-
[その他]	生産機械販売・不動産賃貸	3.4	11.9	8.5	246.0%	1.4	8.2	6.8	466.6%	2.0	3.6	1.6	84.5%
連結合計		4,263.9	4,425.1	161.1	3.8%	1,654.3	1,748.0	93.7	5.7%	2,609.6	2,677.0	67.4	2.6%

事業セグメント別 売上高・営業利益



➤ 医療事業

透析関連製品と看護消耗品の堅調な販売増に伴い利益が増加したものの、

海外OEMが低調、自社GE医薬品薬価改定の影響から、営業利益は対前年△1.3%減

➤ 医薬事業

売上高は堅調に増加し、生産性向上による経費減により、営業利益は対前年23.7%増

➤ ファーマパッケージング事業

欧米、中国、インドで販売が増加したものの、中国とフランス工場での釜修繕による稼働率減少とドイツ工場の償却開始により経費が増加したため、営業利益は対前年△13.0%減

セグメント業績 - ①医療関連事業（国内）

(億円)

【増減率】 【20年度予想】

医療関連事業 (全体)	2019年度	3,357.6	+2.6%	3,583.0
	2018年度	3,273.5		
国内事業	2019年度	1,882.3	+0.3%	2,070.5
	2018年度	1,877.6		
医療機器	2019年度	1,067.1	+5.5%	1,180.0
	2018年度	1,011.7		
医薬品	2019年度	815.1	+2.2%	890.5
	2018年度	797.9		
調剤	2019年度	0.0	-	-
	2018年度	67.9		
ダイアライザ 国内売上高	2019年度	210.8	+6.1%	224.0
	2018年度	198.6		

- **医療機器** ダイアライザ、透析装置など透析関連製品と検査キット、マスクなどの消耗品の販売が増加
- **国内医薬** 新規上市品のベポタスチンとデクスメドミジンの販売が好調、高付加価値製品のリュープロレリンも販売増加
- **調剤** ニチホス連結除外による影響

セグメント業績 - ①医療関連事業（国際）

（億円）

【増減率】 【20年度予想】

国際事業	2019年度	1,411.3	+4.3%	1,450.0
	2018年度	1,353.6		
OEM	2019年度	208.1	△9.7%	198.0
	2018年度	230.5		
ニプロブランド	2019年度	1,203.1	+7.1%	1,252.0
	2018年度	1,123.0		
アメリカ	2019年度	501.6	+11.1%	526.0
	2018年度	451.5		
ヨーロッパ	2019年度	325.8	+1.4%	319.0
	2018年度	321.2		
アジア	2019年度	226.5	+8.4%	264.0
	2018年度	208.9		
中国	2019年度	149.1	+5.5%	143.0
	2018年度	141.3		
ダイアライザ 海外売上高	2019年度	510.9	+12.8%	492.0
	2018年度	453.1		

➤OEM ヨーロッパにおける特殊針のOEM事業が低調により販売が減少

➤ニプロブランド アメリカにおけるダイアライザと透析装置が好調で販売が増加

セグメント業績 - ② 医薬関連事業

(億円)

			【増減率】	【20年度予想】
医薬関連事業	2019年度	703.5	+10.8%	722.5
	2018年度	634.8		

< 受託品売上高内訳 >

GE品	2019年度	402.0	+3.8%	419.5
	2018年度	387.3		
先発品 長期収載品	2019年度	258.0	+18.6%	259.5
	2018年度	217.5		
OTC 原薬他	2019年度	43.5	+46.0%	43.5
	2018年度	29.8		

- **GE品** 中国調達の前薬供給も回復しはじめ、堅調に販売が増加
- **先発/長期収載品** 先発品と長期収載品の受注が堅調で、販売が増加
- **OTC/原薬** 外用剤の中国需要によりOTC医薬品が堅調で、販売が増加

セグメント業績 - ③ファーマパッケージング事業

(億円)

			【増減率】	【20年度予想】
ファーマパッケージング事業	2019年度	362.1		
	2018年度	355.2	+1.9%	393.0

< 地域別売上高内訳 >

日本	2019年度	108.1		
	2018年度	107.8	+0.3%	119.0
海外	2019年度	254.0		
	2018年度	247.4	+2.7%	274.0
ヨーロッパ	2019年度	123.3		
	2018年度	119.4	+3.3%	136.5
アメリカ	2019年度	80.8		
	2018年度	79.9	+1.1%	84.0
中国	2019年度	36.3		
	2018年度	35.5	+2.3%	41.0
インド	2019年度	13.5		
	2018年度	12.3	+9.8%	12.5

- **日本** ネストシリンジやVIALEX、再生医療関連製品などの高付加価値製品の販売により売上高は微増
- **海外** 欧米と中国においては生地管と滅菌済みシリンジ、インドにおいては生地管の販売により売上高が増加

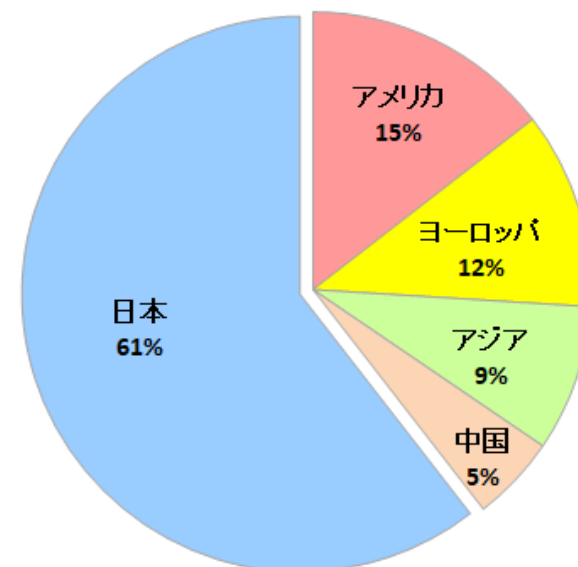
地域別売上 売上高・構成比

【地域別売上高】

(億円)

	2018年度	2019年度	増減額	増減率	2020年度 予想
日本	2,609.6	2,677.0	67.4	+2.6%	2,854.5
海外計	1,654.3	1,748.0	93.7	+5.7%	1,845.5
アメリカ	598.3	641.5	43.2	+7.2%	640.0
ヨーロッパ	510.4	508.0	-2.4	△0.5%	516.5
アジア	336.4	377.6	41.2	+12.2%	407.0
中国	209.0	220.8	11.8	+5.6%	282.0
合計	4,263.9	4,425.1	161.2	+3.8%	4,700.0

【2019年度 地域別売上高構成比】



- 日本売上高 +2.6%、海外売上高 +5.7%の増加
全地域 で+3.8%の増加、ヨーロッパを除く 各地域で増収

為替感応度（連結ベース）

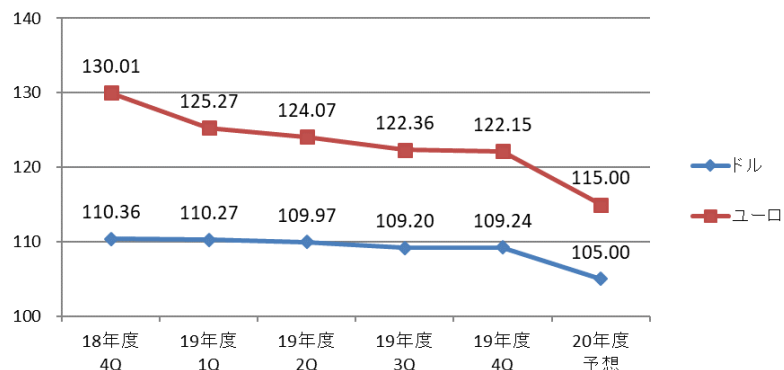
1円変動による年間影響額

(億円)

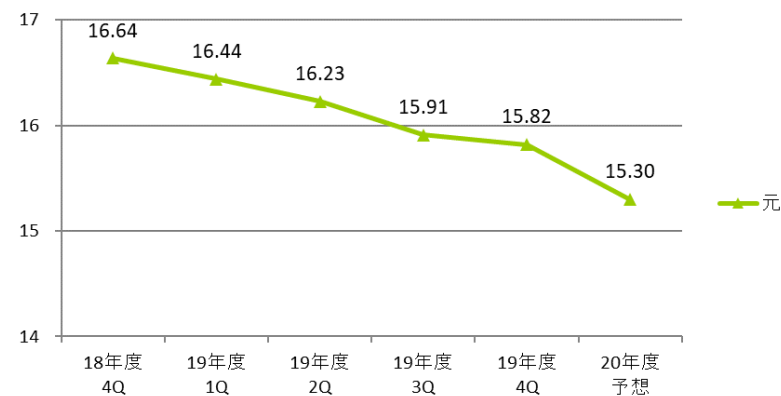
	ドル	ユーロ	元
売上高	6.1	4.1	13.4
営業利益	0.2	1.8	9.4

<レート推移> 四半期平均レート

(円)



(円)



➤ 19年度 ドル・ユーロ・元の各国レートは円高基調

販売費及び一般管理費、研究開発費

販売費及び一般管理費

(億円)

項目	2018年度 実績	2019年度		増減	増減率
		実績	構成比		
人件費	356.6	322.2	30.0%	△ 34.3	△9.6%
物流費(※1)	124.9	124.5	11.6%	△ 0.4	△0.3%
研究開発費	151.1	156.1	14.5%	5.0	3.3%
償却費(※2)	87.3	106.5	9.9%	19.2	22.0%
販促費(※3)	63.6	69.9	6.5%	6.3	9.9%
その他	284.3	298.4	27.7%	14.1	5.0%
合計	1,068.0	1,077.9	100.0%	9.8	0.9%

(※1) 運送費、保管料

(※2) 減価償却費、のれん償却品、開発償却費

(※3) 販売手数料、見本品費、広告宣伝費、交際接待費

研究開発費(※4)

(億円)

	2018年度	2019年度	2020年度 予想
医療	82.9	97.2	97.0
医薬	82.3	84.7	88.0
合計	165.2	181.9	185.0

(※4) 製造原価における研究開発費含む

➤ 販管費

医療関連事業でヨーロッパの開発費が増加したものの、
医薬関連事業で経費を削減し、対前年同期+0.9%の増加

➤ 研究開発費

対前年同期+3.3%の増加

設備投資額・減価償却費

(億円)

	設備投資額 (※)			減価償却費		
	2018年度	2019年度	2020年度 予想	2018年度	2019年度	2020年度 予想
医療関連	226.4	319.7	558.0	159.3	172.9	176.5
医薬関連	210.0	112.4	157.0	116.4	120.9	138.5
ファーマパッケージング	55.7	77.4	45.5	37.1	43.1	41.5
その他	70.4	142.2	26.5	39.6	49.7	38.5
合計	562.7	652.0	787.0	352.5	386.8	395.0

(※) 設備投資額は検収ベース

➤ 設備投資額

2019年度：修正後通期予想787億円に対しては、実績652億円と低減されたが、対前年同期比で+15.8%の増加

2020年度：医療関連は、再生医療による大型設備投資によって対前年+74.5%増加予想。

➤ 減価償却費

2019年度：継続した設備投資の増加により、対前年同期+9.7%の増加

2020年度：再生医療の設備投資による償却費増は2022年度以降となるため、対前年比+2.1%増加

主要会社別の設備投資額

(億円)

会社名	金額	主な内容
ニプロ(株)	214.0	うち びわこ工場 20.4 バイアル製造設備およびゴム栓 再生医療研究所 18.1 培養設備 札幌CPF 11.0 建屋改修 愛知工場 5.6 製造設備
ニプロファーマ(株)	96.3	うち 伊勢工場 39.3 新バイアル製造設備、品質管理棟 等 大館工場 33.8 プレフィルドシリンジ製造設備 等 鏡石工場 22.2 既存棟増築工事 等
(株)グッドマン	55.3	愛知工場の建屋、生産設備 等
ニプロインディアコーポレーション	73.8	製造設備
ニプロメディカルコーポレーション	28.9	透析機械、透析施設費用
ニプロベトナムカンパニーリミテッド	59.2	製造設備、金型
ニプロ医工(株)	13.9	近藤工場建屋改修、製造設備
ニプロタイランドコーポレーション	15.8	セーフタッチPSV及びAVFの製造設備
ニプロファーマパッケージング ジャーマニー	22.5	バイアル及びシリンジの製造設備

通期予想

医療関連事業

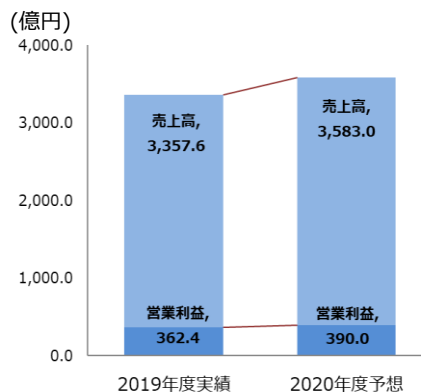
医療関連事業 売上高内訳 (億円)			
	2019年度 実績	2020年度 予想	増減率
国内	1,067.1	1,180.0	10.6%
GE販売	815.1	890.5	9.3%
OEM	208.1	198.0	-4.9%
アメリカ	501.6	526.0	4.9%
ヨーロッパ	325.8	319.0	-2.1%
アジア	226.5	264.0	16.5%
中国	149.1	143.0	-4.1%
工場直販	64.4	62.5	-2.9%
医療 計	3,357.6	3,583.0	6.7%

医薬関連事業

医薬関連事業 売上高内訳 (億円)			
	2019年度 実績	2020年度 予想	増減率
GE品	402.0	419.5	4.3%
先発・長期収載品	258.0	259.5	0.6%
OTC・原薬	43.5	43.5	0.0%
医薬品受託 計	703.5	722.5	2.7%

ファーマパッケージング事業

ファーマパッケージング事業 売上高内訳 (億円)			
	2019年度 実績	2020年度 予想	増減率
日本	108.1	119.0	10.1%
欧米	204.1	220.5	8.0%
中国	36.3	41.0	12.9%
インド	13.5	12.5	-7.4%
ファーマPKG 計	362.1	393.0	8.5%

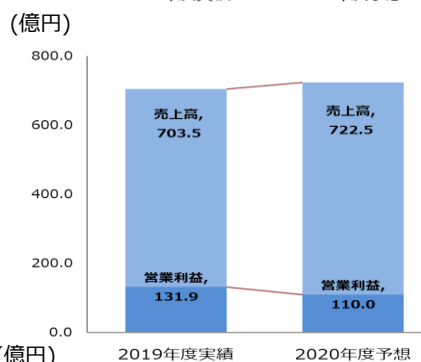


➤ 売上高

日本においては医療機器、GE医薬品ともに堅調に販売が増加する。アメリカでは透析関連製品全般で販売が増加、アジアではダイアライザの販売が増加する。一方で、ヨーロッパでは特殊針のOEM事業が低調、中国では生産減や物流制限の影響から販売が減少する計画。

➤ 営業利益

バスキュラー製品とSD製品の利益が増加し、透析関連製品の増産による製造原価低減によって利益率が向上する計画。

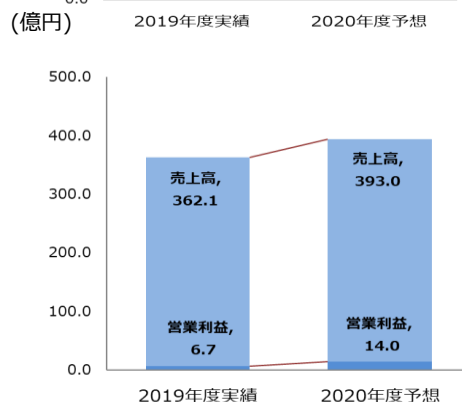


➤ 売上高

GE品を中心に安定的な販売増加の計画。

➤ 営業利益

大館工場における注射剤新棟設備の償却開始による償却費増と、増産体制強化による労務費などの経費増の影響から利益率が低下する。ただし、上記の費用増により生産能力が増強されるため、将来的には売上高が増加し、それに伴って利益率が向上していく計画。



➤ 売上高

日本では高付加価値のシリンジやバイアルの販売が増加し、欧米と中国においては硝子の生地管と滅菌済みシリンジの販売が増加する計画。

➤ 営業利益

ドイツでの滅菌済みシリンジ販売、フランスでの生地管とバイアル、アンブル販売が増加することで利益が向上、中国では生地管の増産による原価低下で利益率が向上する計画。

ご注意

本資料における予測数値は、本資料作成時点における事業環境において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績等は、今後の様々な要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。